



今日のトピック 鉄鉱石・石炭価格の動向

中国の環境規制の影響を受ける鉄鉱石、石炭価格

ポイント1 鉄鉱石価格は緩やかな上昇 原料炭、燃料炭は揉み合い

- 鉄鉱石の価格は、2017年12月後半に1トン当たり70ドル台に乗せ、直近18年2月26日の同79ドルまで上昇しました。
- 一方、石炭の価格は、原料炭が17年12月末の同260ドル台から1月下旬の213ドル台への下落を経て直近2月27日の235ドル台まで上昇、燃料炭は同100ドルから同109ドルの間での揉み合いとなりました。

ポイント2 高品質の鉄鉱石需要が増大 中国政府の環境規制が影響

- 鉄鉱石、石炭の大消費地である中国では、石炭消費が増える冬場に大気汚染が深刻化する北部の28都市に対して、政府が鉄鋼やアルミ等の生産を抑制するよう命じています（17年11月中旬から18年3月中旬まで）。産業合理化（過剰設備廃棄）の影響もあり、中国の鉄鋼生産量は17年夏場を境に減少傾向にあります。
- もっとも、規制解除後は、その反動で鉄鋼の生産量が増大するとの見通しもあり、鉄鉱石、原料炭の価格は堅調さを保っています。
- 一方、燃料炭は、中国での天然ガス不足による需要のシフト等により価格が上昇しました。

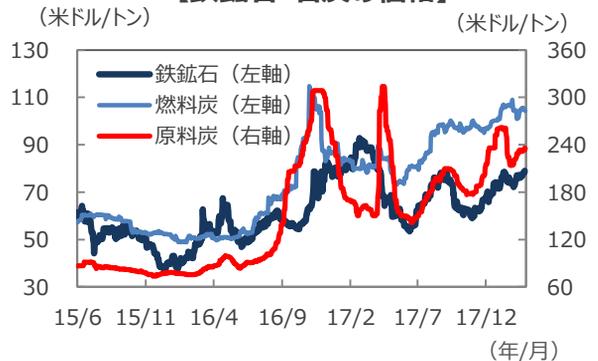
今後の展開 中期的には堅調な展開へ

- 鉄鉱石、原料炭の価格は、短期的には政府規制の影響を受ける恐れがあります。しかし、中期的には中国の経済成長に伴い、インフラ（社会資本）整備投資の増大が見込まれるため、鉄鉱石等への需要は増加する見通しです。価格も堅調に推移すると予想され、資源国通貨である豪ドルの下支えとなると考えられます。

ここもチェック! 2018年2月28日 2018年の『全人代』の注目点
2018年2月27日 原油価格の動向（2018年2月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【鉄鉱石・石炭の価格】



(注) データは2015年6月1日～2018年2月27日
(鉄鉱石価格は2018年2月26日まで)。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

【豪ドルの対円相場と鉄鉱石価格】



(注) データは2015年6月1日～2018年2月27日
(鉄鉱石価格は2018年2月26日まで)。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成